

新型コロナウイルス感染症に係る道普請ガイドライン
概要版

和歌山県世界遺産センター

新型コロナウイルス感染症に係る道普請ガイドラインについて

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（2020.5.4）

提言4.（2）

「業種ごとの感染拡大予防ガイドラインに関する留意点」添付「『新しい生活様式』の実践例」等を参考に、場面ごとの具体的な感染予防対策を規定している。

感染防止のための基本的な考え方

3つの条件（いわゆる「三つの密」）のある場
感染を拡大させるリスクが特に高いと考えられ、本ガイドラインは、

①②③の各状況を避けることなど、自己への感染を回避するとともに、
他人に感染させないように徹底する。



- ① **密閉空間**（換気の悪い密閉空間である）
- ② **密集場所**（多くの人が密集している）
- ③ **密接場面**（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）

1 具体的な感染予防策

(1) 感染予防対策について

担当職員は、以下のいずれかに該当する参加者がいる場合は、道普請を実施してはならない（職員自身も以下のいずれかに該当する場合は、同様である）。

- ① 発熱・咳・下痢・倦怠感等の症状や味覚・臭覚の異常がある者。
- ② 新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した者またはその者と濃厚接触がある者。
- ③ 同居家族や身近な知人の感染が疑われる者。
- ④ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航並びに当該国・地域の在住者との濃厚接触がある者。

(2) 感染予防対策の周知等

参加者には、旅行時の感染予防対策を周知・啓発し、換気や手洗い、除菌、マスク等の対策実行の理解と協力を依頼する。

1 具体的な感染予防策

(2) 道普請ソーシャルディスタンス

- ①原則マスク着用及び消毒液装備（会場施設内及び作業場）
- ②参加者の移動は、2 mを目安に間隔を保つ。

(3) その他必要事項（事前健康観察）

参加者（企業、団体等）には、**健康観察チェックシート**（事前送付）を活用した体調管理を依頼し、健康管理の徹底を図る。

（センター到着後にも検温を行い、体調不良者に対しては、県健康推進課マニュアルにより田辺保健所に連絡）。

(参考) C 健康観察チェックシート

皆様が安心・安全に道普請を楽しんでいただけるために、必ず提出をお願いします

記入者名		連絡先	
参加場所		参加日時	
参加者数		団体名	

ご利用前に、必ず参加者全員への周知と確認をしてください。

① 参加者に該当する方が含まれる場合、利用の中止をお願いします。
(症状や接触は、過去2週間に該当が疑いか確認してください。)

-発熱、せき、のどの痛みなどの症状が出ている方。
-だるさ、息苦しさ、体が重く感じる、嗅覚や味覚喪失等の症状が出ている方。
-同居家族や身近な知人に、新型コロナウイルス感染症への感染が疑われる方がいる方。
-感染拡大している地域や外国へ訪問した方、または、その方と接触している方。

② 施設への入り時、休憩している時には必ずマスクを着用してください。

③ こまめな手洗いや消毒を行ってください。屋内では、こまめな換気をしてください。

④ 活動中に大きな声で会話、取組、指導などを行わないでください。

⑤ ミーティングや休憩時に、「密閉・密集・密接」にならないよう注意してください。

⑥ 活動は、他の人と2mを目安に距離を明け接触を避けるとともに、対面にならないよう配慮してください(障がい者の指導や介助を行う場合を除く)。

⑦ 軍手は、個人用をご持参ください。施設の貸出備品をご利用の場合には、施設職員が消毒しておりますが、手を触れる箇所を最低限にしてください。

⑧ 活動中は、職員の指示に従ってください(密接、密閉を避け、短時間での活動へのご協力)

上記の①～⑧の内容を確認し、ご同意いただいた方は、「✓」をつけてください。

催行人員
作業量

10～20名

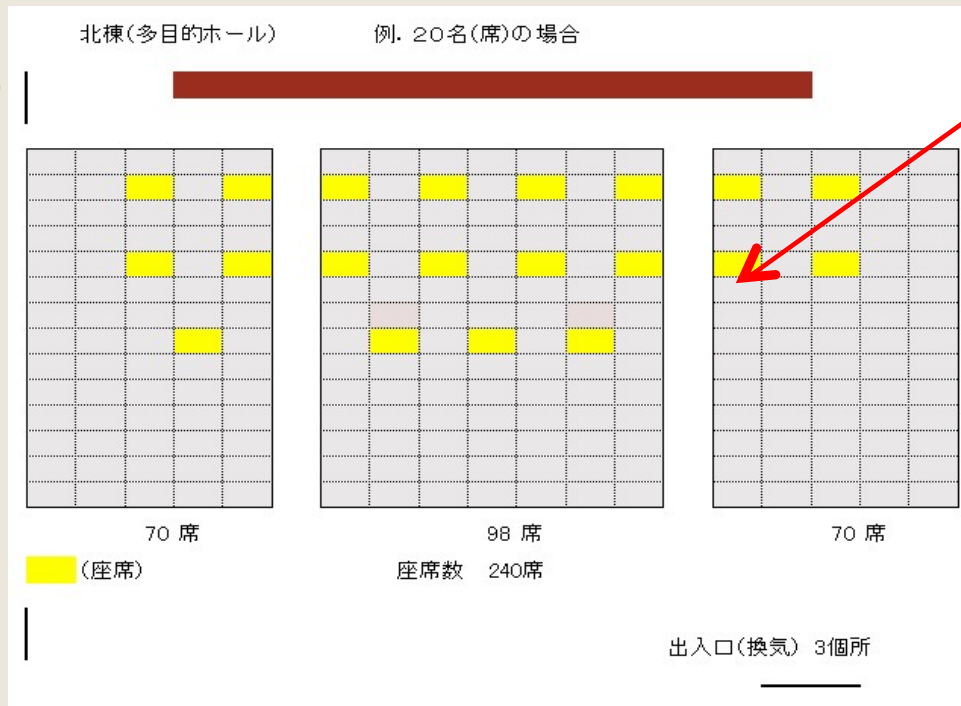
0.5～1 t（60分以内）とする。

道普請実施工程

道普請レクチャー会場

例. 20席

ドア開放①



最大50席

240席

- ・換気及び密集、密接に配慮した設営。
- ・使用後は塗布消毒。

ドア開放②

ドア開放③

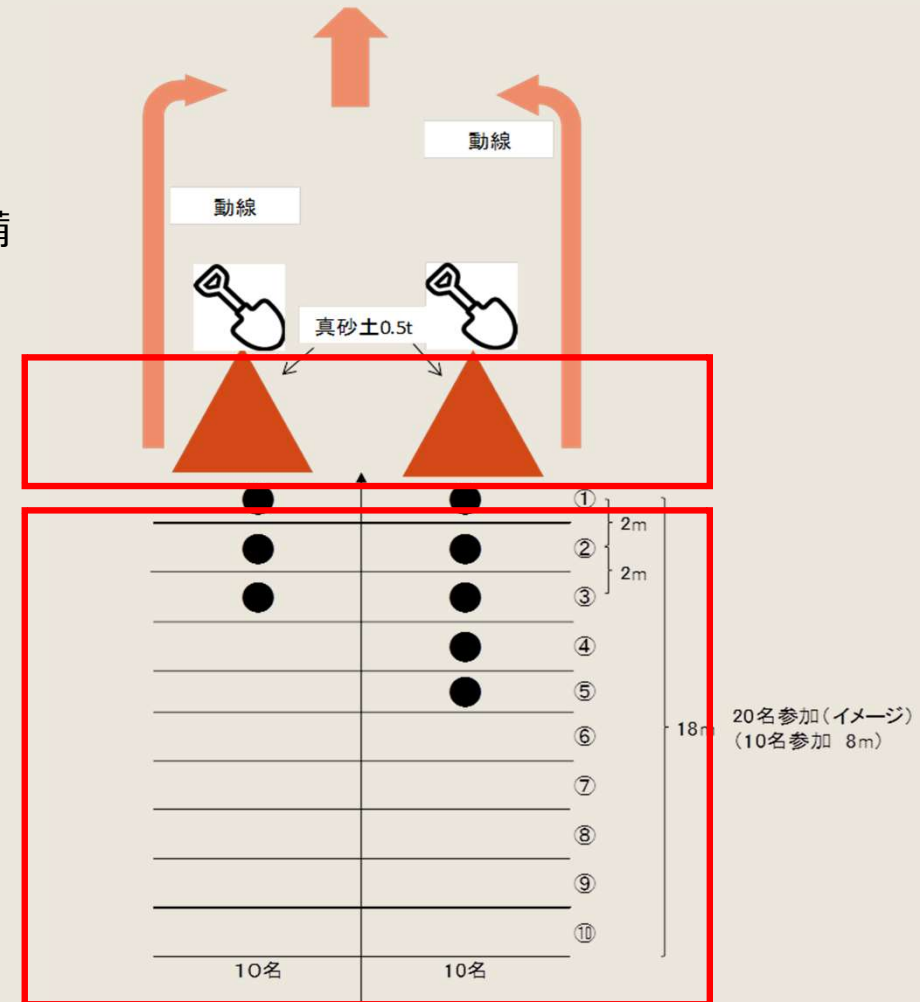
道普請実施工程

道普請事前準備

土入場（作業場）

軍手（持参）、土嚢袋（使用後は回収廃棄）配布。

職員は、土を2個所に分けた上、作業準備は（土嚢袋への土入れ）参加者各自が行う。



道普請実施工程

(道普請作業)

(道普請作業後)

職員は、予め作業場所を設定しておく。

使用済土嚢袋は回収(密閉)廃棄
(軍手のリネンは一般的家庭用洗剤
を使用)。

(参考)D

作業は、土入後速やかに作
業場内より退去すること、
(作業場内に、2名以上滞
留することがないよう配慮
する)。



他の職員(2名)は、各作業を補佐すると共に、
古道歩行者の安全確保(参加者の健康管理も)を
行う。